



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 京都大学生物資源経済研究 1998, 4

ISSUE DATE:

1998-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/54255>

RIGHT:

京 都 大 学 生物資源経済研究

No. 4

1998年12月

戦前期農家小組合の形態と機能

ー日本農業・農村における「個と集団」の歴史的分析ー…… 野田 公夫 (1)

デンマークにおける畜産糞尿リサイクルによる

発電および地域暖房計画の環境経済的考察

ー中央集中管理型バイオガス工場を事例としてー…………… 加賀爪 優 (21)

日本・韓国・台湾3国の米・穀物政策発展における

5段階と農業政策への含意…………… 辻井 博 (43)

Geographic Information Systems and

Environmental Problems…………… Takashi TAKEBE (69)

卸売市場の整備・統合に関する計量的モデル分析の方法論的研究

ー第3セクター方式による

花き卸売市場の整備・統合問題に焦点を当ててー…………… 小田 滋晃 (87)

日本と中国の農家投資と資金調達…………… 浅見 淳之 (107)

『生物資源経済学研究』規程

1. 編集要領

(1) 執筆者

生物資源経済学専攻教官とする。なお編集委員会で特に認めたものも執筆できる。

(2) 発行回数と別刷り

当面年1回の発行とする。別刷りは各原稿当たり20部まで無料で著者に贈呈、それ以上は著者の実費負担とする。

(3) 原稿の採否の決定

原稿の採否の決定は編集委員会が行う。

(4) 著者校正

著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

2. 執筆要領

(1) 原稿の種類は論文と研究ノートの2種とし、著者は原稿にそれがどの種類に属するかを明記する。

(2) 原稿の長さは図表を含め、和文の場合は横書き400字詰めA4原稿用紙で、50枚以内とする。英文の場合図表を含め、A4用紙にダブル・スペース(28行、1行10～15単語)で、30枚以内とする。和文の場合英文サマリー(300単語以内)と英文題名を、英文の場合和文サマリー(800字以内)と和文題名を投稿と同時に御提出下さい。原稿はコピーを2部作成し合計3部、編集委員長ないし副委員長に完成原稿でご提出下さい。

(3) ワードプロで執筆の場合は、A4版用紙に40×40字で横書き印刷した原稿とテキスト・ファイル形式でセーブした3.5インチ・フロッピー(著者名、論文テーマ、ファイル名、使用アプリケーション・ソフト名、使用パソコン・ワードプロ機名を表記したもの)1枚をご提出ください。

(4) 特殊な専門用語・学術用語の他は原則として新仮名遣い・常用漢字を使用して下さい。

(5) 節項表示は

第1節、(1)、1)、a のようにする。

(6) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万などと表す。

(7) 図表

1) 加工: 分かりやすいように加工し、刷り上がりを考慮して縮約に努めて下さい。

2) 用紙: 図は上質白紙を使用し、トレースするかレーザー・プリンターで印刷したものを御提出下さい。

3) 図表題: 各論文ごとに各図表の上に、第1表、第2表、....、第1図、第2図、... のように番号を順番に付け、図表題を簡潔に付けて下さい。各図表の下に出典ないし参考文献と、必要なら注を付けて下さい。

4) 位置表示: 編集作業をスムーズにするため原稿の右マージンに図表の入る位置を示して下さい。

(8) 注

1) 和文原稿の場合、本文内の関係箇所に(注1)、(注2)、... と表記してください。なお、原稿の右マージンに注の位置を示してください。全部の注を各論文の末尾にまとめて記述してください。

2) 英文原稿の場合、本文内の関係箇所に片括弧で1)、2)、... と肩書きしてください。なお、原稿の右マージンに注の位置を示してください。全部の注を各原稿の末尾にまとめて記述してください。

(9) 引用文献

引用文献を別記する場合は和文と欧文別にまとめ、和文は著者姓のアイウエオ順、欧文は著者姓のアルファベット順に下記例に従って、()内に文献番号を順に付けて、注の後に表記してください。また、本文中の引用方法は次の例ようにして下さい。例: 著者姓(文献番号)

引用文献

(1) 並木正吉「農業保護の理由」『農業と経済』第51巻第11号、25-35頁、1985年10月。

(2) 堀田忠夫「米の消費・流通と寡占競争市場」(亀谷編著『アメリカ米産業の素顔』富民協会、1988年刊所収)。

(3) 増井幸夫『農村労働市場の計量分析』、大明堂、1995年2月。

(4) 南 亮進著『日本の経済発展』、東洋経済新報社、1981年12月。

(5) Bank of Thailand, *Quarterly Bulletin*, Vol.24 No.1, March 1984.

(6) Farrell, J., J. C. Ingram and J. M. Keynes, "Information and the Coase Theorem," *Economic Perspective*, Vol. 1, No. 2, 25-35 pp., Fall 1987.

(7) Geertz, Clifford, *Agricultural Involution*, Berkeley: University of California Press, 1966.

(8) U.S.D.A., E.R.S., *Rice, Situation and Outlook Report*, RS- 53, September 1989.

付記

(1) 本規定の改定は専攻会議の承認を得なければならない。

(2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。

執筆者紹介 (掲載順)

野田 公夫	比較農史学分野
加賀爪 優	地域環境経済学分野
辻井 博	国際農村発展論分野
武部 隆	農業組織経営学分野
小田 滋晃	経営情報会計学分野
浅見 淳之	国際農村発展論分野

『生物資源経済研究』第4号の編集を終えて

第4号をお届けします。

昨年に比して、掲載論文数は1本増え、発行期日もやや早めることができました。これは本紀要が発足して4年目にして、編集・刊行に至るノウハウが徐々に蓄積されてきたこととともに、専攻スタッフの研究生生活のなかに「本紀要への執筆」ということが少しずつ織り込まれてきたことを示しているように思います。目標は、専攻を構成する8分野から各々の個性が発揮された論文がバランスよく投稿され、専攻全体の研究動向や問題意識を的確に反映した『生物資源経済研究』をお送りできるようになることです。このような期待を込めて、第5号を楽しみにしたいと思います。

1998年12月10日

編集委員長 野田 公夫

『生物資源経済研究』第4号編集委員 (五十音順)

浅野 耕太	伊庭 治彦	大田 伊久雄	祖田 修
武部 隆	沈 金虎(副委員長)	中田 義昭	野田 公夫(委員長)

京都大学 生物資源経済学研究 第4号

1998年12月25日 印刷

1998年12月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻
生物資源経済学研究 編集委員会
電話 075-753-6201

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

平成 年 月 日

御中

京都大学大学院農学研究科
生物資源経済学専攻

刊行物資料の送付について

このたび下記の「生物資源経済研究」を専攻紀要として刊行いたしました。
御高覧いただきたく御送付申し上げます。

お手数ながら下添の受領書を御送付下さるようお願い申し上げます。

なお、今後新資料御刊行の節は御恵贈賜りたくお願い申し上げます。

記

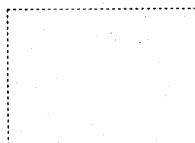
生物資源経済研究 第4号

1部

2
0
5
8
6
0
6

京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科
生物資源経済学専攻司書室 行



受 領 書

生物資源経済研究 第4号

1部

上記刊行物受領いたしました。

平成 年 月 日

住 所

機関名

氏 名

The Natural Resource Economics Review

Kyoto University

No. 4

December 1998

Types and Roles of Peasants Cooperatives in the Prewar Period

— Historical Analysis on Individuals and Groups in

Japanese Agriculture / Rural Villages— Kimio NODA (1)

A Study on Economic and Environmental Efficiency of Power

Generation & Districts Heating System Based on the Recycling
of Livestock Industry Wastes & Manure in Denmark

— Base on Cases of Centralized Biogas Plant—

..... Masaru KAGATSUME (21)

Five Stages in the Development of Rice and Grain Policies of Japan,
Korea and Taiwan and Their Policy Implications

..... Hiroshi TSUJII (43)

地理情報システムと環境 武部 隆 (69)

A Methodological Study of Econometric Model Analysis on

Reorganization & Integration of Wholesale Markets

— with Focus on Reorganization & Integration Issues of Flower

Wholesale Market by Third Sector —

..... Shigeaki ODA (87)

Financing of Farmer's Investment in

Japan and China Atsuyuki ASAMI (107)

Natural Resource Economics Division
Graduate School of Agriculture
Kyoto University